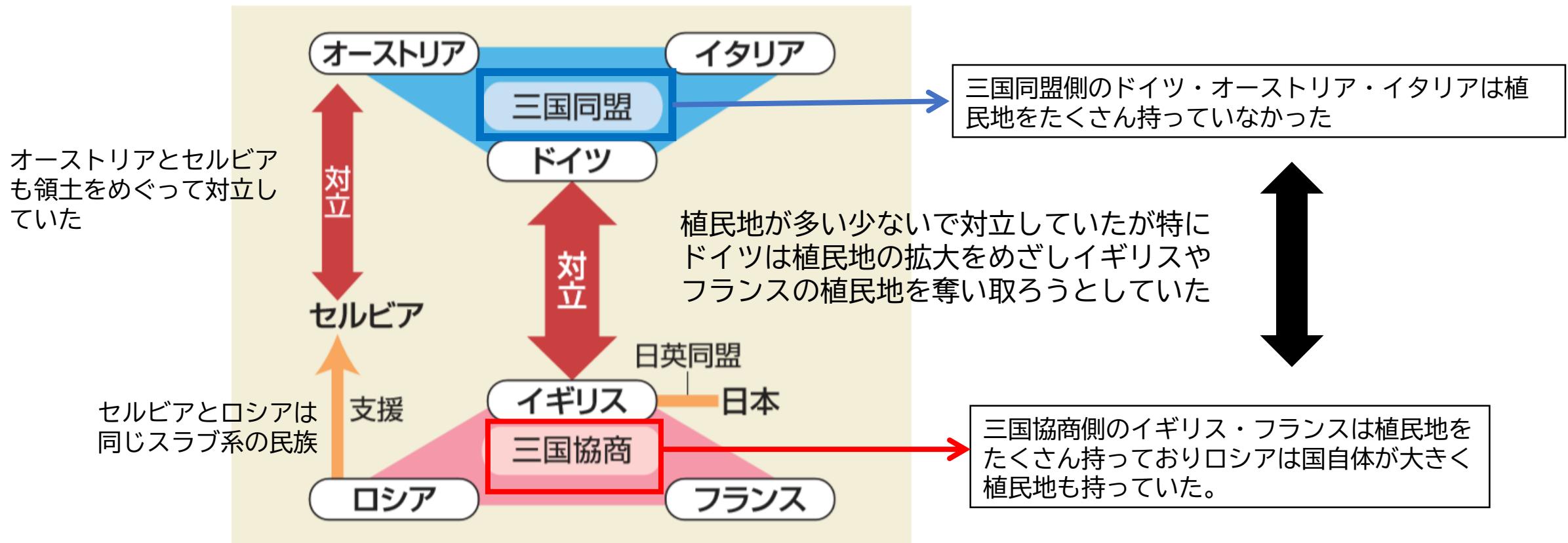


第一次世界大戦前の各国の関係

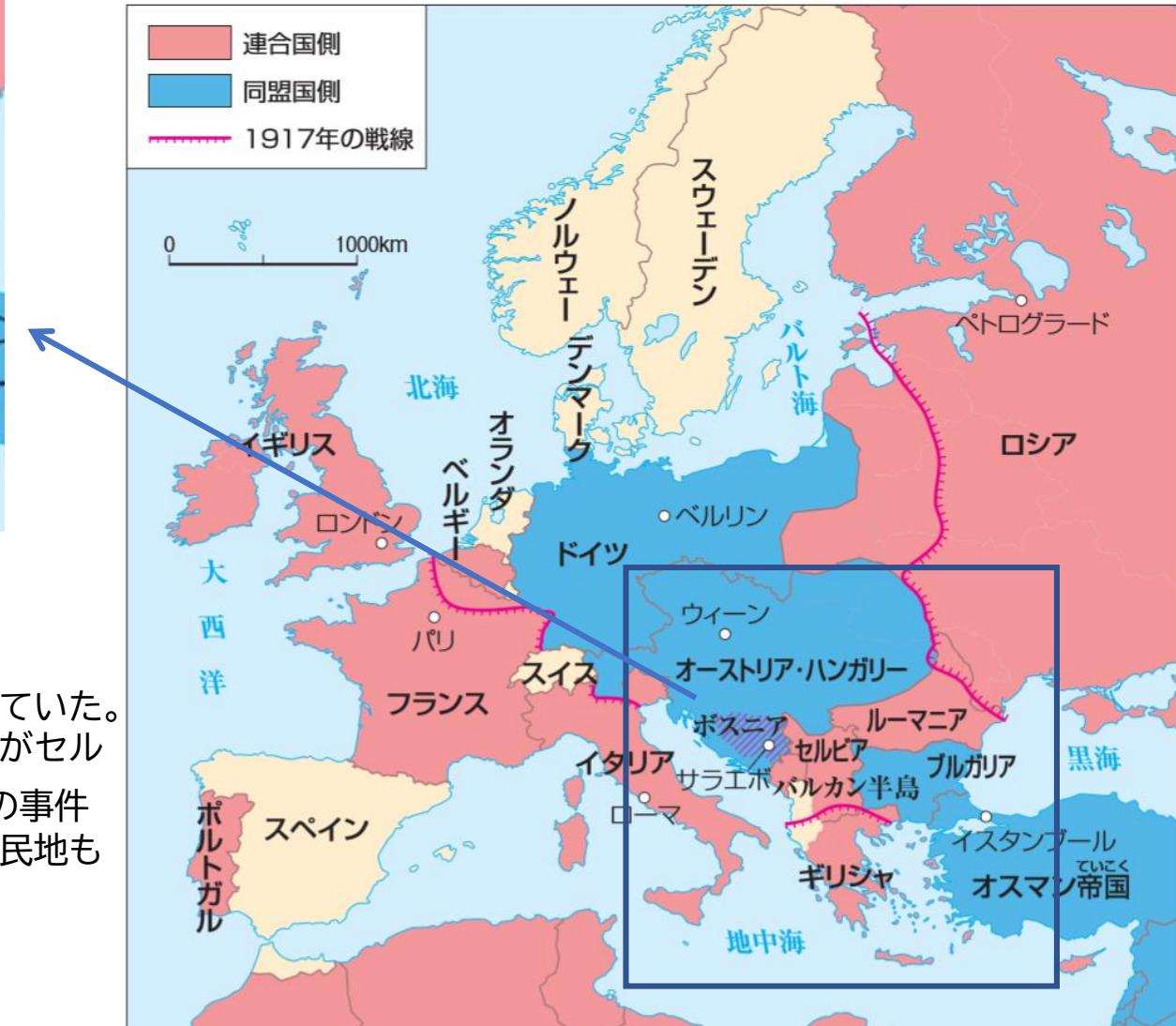


サラエボ事件と第一次世界大戦

オスマン帝国の勢力が衰えたことで複数の民族同士の対立がたえなかつた**バルカン半島**は**ヨーロッパの火薬庫**とよばれた

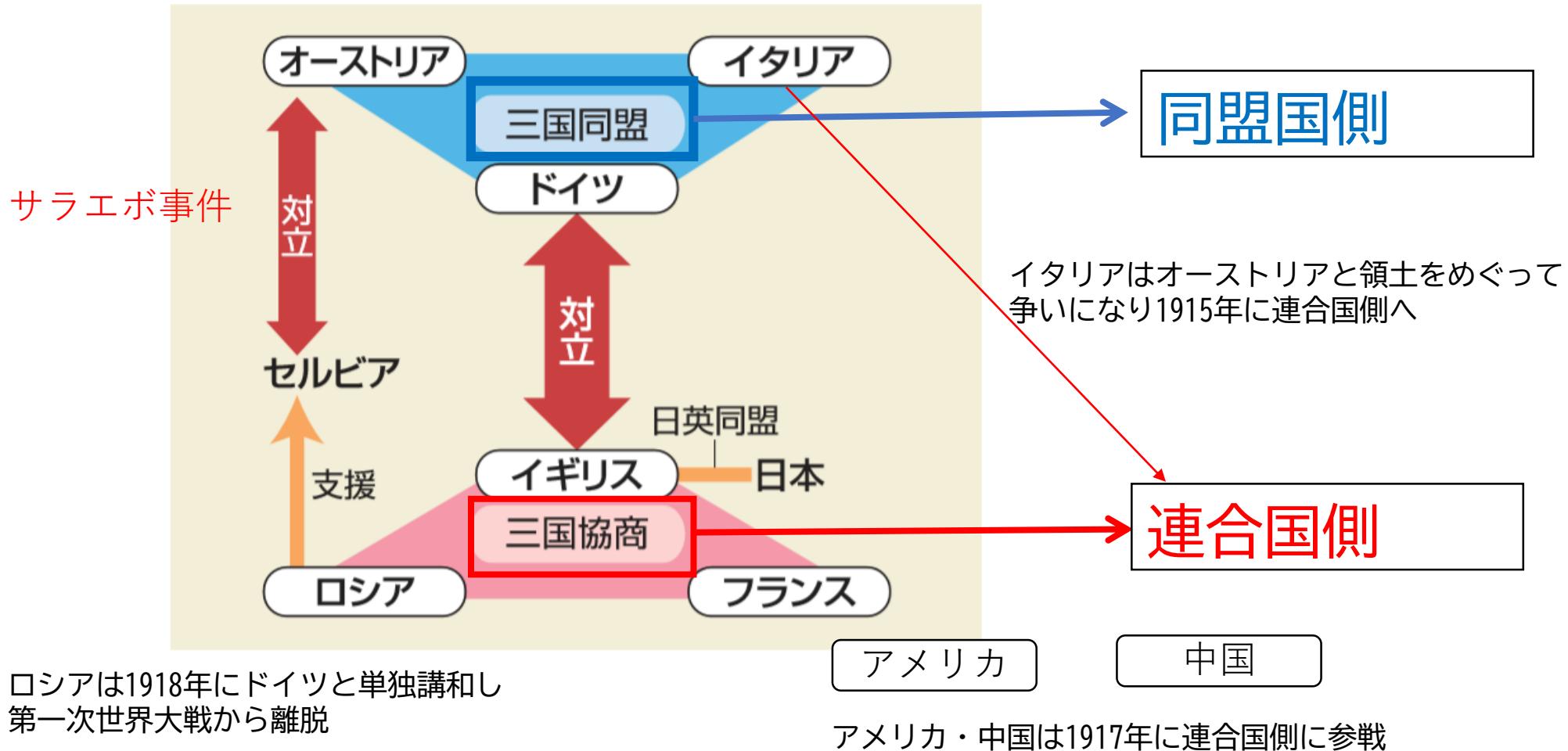


ボスニアの領地をめぐってオーストリアとセルビアが争っていた。1914年オーストリアのサラエボで、オーストリアの皇太子がセルビアの青年に暗殺される**サラエボ事件**が起きる。この事件をきっかけに連合国側と同盟国側に分かれ、それぞれの植民地も巻き込んで**第一次世界大戦**が始まる

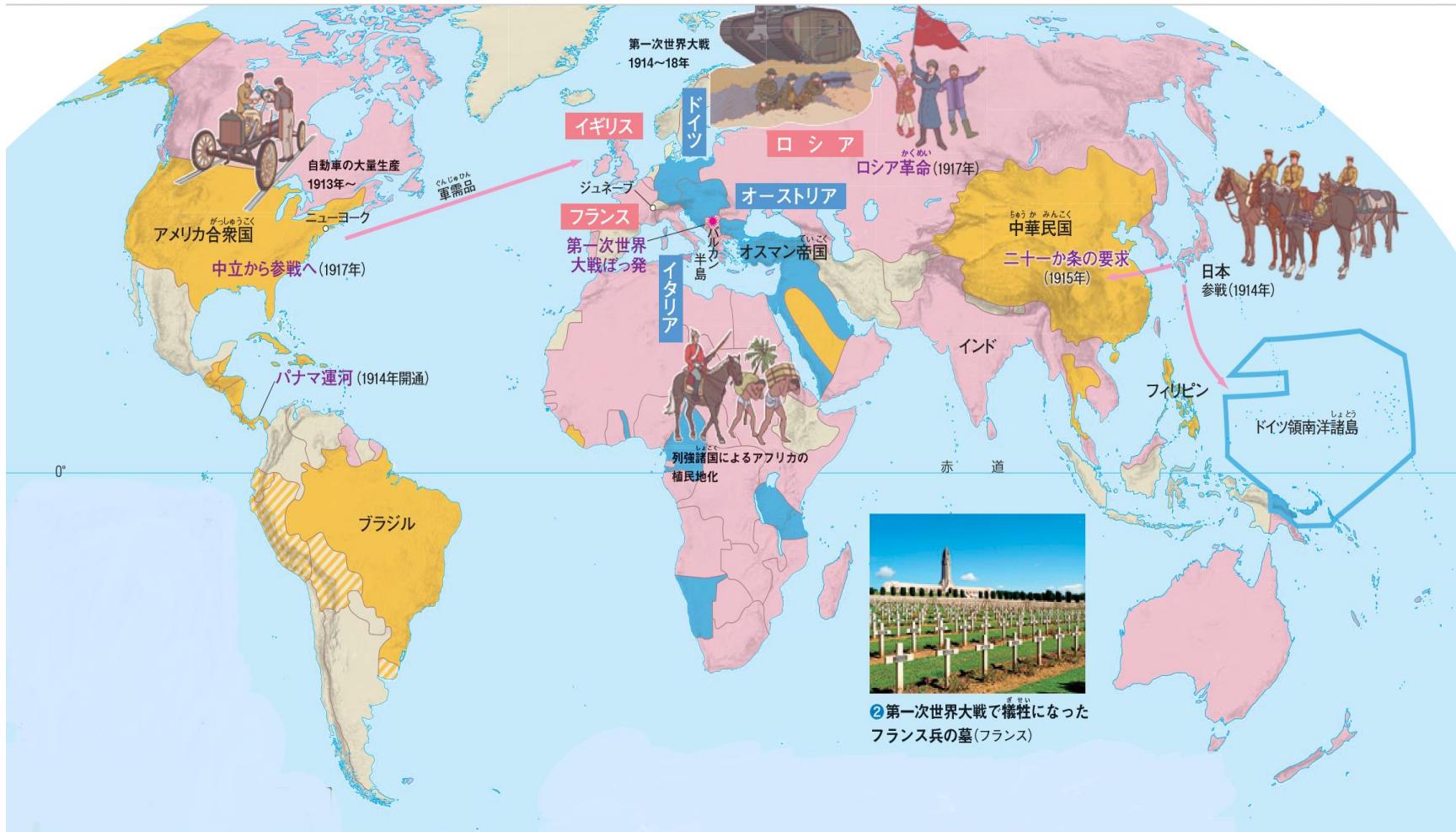


⑦第一次世界大戦のころのヨーロッパ

第一次世界大戦時の各国の関係



第一次世界大戦の国際関係



連合国側と同盟国側の植民地を含めると世界を巻き込む大戦争であったことがわかる

連合国側の植民地が圧倒的に多く、植民地をたくさん持っている連合国側と植民地が少ない同盟国側の植民地を奪い合う争いであったことがわかる

新兵器の登場

新兵器の登場により、戦争の犠牲者はそれまでの戦争をはるかに超えるものになり、多くの男性が徴兵されたので、女性は兵器工場で働き、国家の総力をあげた総力戦になりました。



戦争にどのような人が動員され、どのような武器が使われているのかな。



①飛行機(左上)と
②戦車(左) 第一次世界大戦では新しい兵器が導入され、犠牲者がいちじるしく増えました。



③ざんごうを掘って戦う兵士

総力戦

総力戦には国民の協力が必要不可欠であった。
協力を得るために各国は国民に戦争が終われば労働者の暮らしがよくなるようにする約束や
植民地の人々には支配をやめ独立を認める約束をして国民の不満をやわらげた。



④ 兵器工場で働く女性

植民地からも兵士が動員された



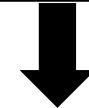
⑤ イギリス軍に動員された植民地のインドの兵士

ロシア革命

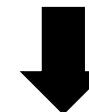


❸ 演説をするレーニン(1870～1924) ロシア革命を成功させた政治家です。皇帝が退位した後、亡命先からロシアにもどり、ソビエトによる政府をつくりあげました。

長引く戦争で生活が苦しくなったロシアでは、1917年、労働者や兵士が革命を起こし、皇帝が退位した



ソビエトという労働者や兵士の代表者会議のリーダーだったレーニンが新しい政府をつくったことをロシア革命という



社会主義の国をめざして1922年にソビエト社会主義共和国連邦(ソ連)が成立し、世界初の社会主義国が誕生した

レーニンは一部の皇帝が政治の実権をにぎり、一部の資本家だけが裕福になるのではなく、多くの民衆（労働者）が平等にくらせる社会をめざしていたんだね。

ところが多くの労働者が団結して力を持つような国は周りの国のリーダーにとっては政治がやりにくくなるので自分の国に影響がおよぶことを嫌がる国が多かった。